

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2006-141460(P2006-141460A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-332236(P2004-332236)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体の通過等を検出して検出信号を出力する検出信号出力手段と、
遊技の主要な制御を司ると共に、前記検出信号の入力に基づいて種々の制御信号を出力
する主制御基板と、

該主制御基板からの前記制御信号に基づいて遊技に関する動作を実行する動作装置と
を備え、

前記主制御基板には、前記検出信号を受信する入力端子部材と、前記検出信号の受信に
に基づいて前記制御信号に関する演算処理を行う演算装置と、該演算装置にて演算された制
御信号を前記動作装置に出力する動作装置出力端子部材とが実装されると共に、これらを
電気的に接続する動作用配線パターンが設けられた遊技機において、

前記主制御基板に、

前記制御信号又は前記検出信号のうち少なくとも一方を、外部試験装置による試験実行
時に用いる試験時使用信号として伝送可能とする試験用配線パターンを設け、

さらに、前記試験実行時に用いる試験時専用領域として、前記試験用配線パターンの途中に、前記試験時使用信号に対して所定の電気的処理を施すための電気回路ICを搭載可能とする試験時用IC搭載領域を設けると共に、前記試験用配線パターンの終端部に、前記試験時使用信号を前記外部試験装置に出力するための外部出力端子部材を搭載可能とする試験時用端子部材搭載領域とを設け、

前記試験時用IC搭載領域、前記試験時用端子部材搭載領域には、それぞれ電気回路IC、
外部出力端子部材を非実装としたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記試験用配線パターンを、前記動作用配線パターンから分岐するようにして設けたこ
とを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記演算装置は、前記制御信号を出力する際に、該制御信号と並行して識別信号を出力
することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記主制御基板に、前記制御信号に雑音除去や波形整形等の電気的処理を行うバッファ

回路 I C を、前記動作用配線パターンの途中であって前記試験用配線パターンより前記演算装置側に実装したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記主制御基板に、前記入力端子部材に入力した検出信号を所定電圧レベルの 2 値信号に整形する信号整形回路を設け、該信号整形回路により整形された検出信号が、前記演算装置及び前記試験用配線パターンに入力されるよう電気的接続を施したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の遊技機。